



株式会社ウィルズ

FY2019.12

決算説明資料

2020/02/14

FY2019 エグゼクティブ・サマリー

1 売上高成長率の目標を超過達成

20%の売上高成長率目標に対して、**54.4%増**を達成

2 プレミアム優待倶楽部が成長を牽引

ストック型収益モデルの「プレミアム優待倶楽部」が**82.4%増**と大幅成長

3 IR-navi契約社数は、純増50社

FY2018の純増19社に対して、FY2019は、**純増50社**

4 営業利益率が大幅改善

営業利益率は、7.8%改善し、**17.3%へ**



1. FY2019 決算概要

売上高は、54.4%の増収を達成し過去最高を更新 営業利益は、181.7%の増益

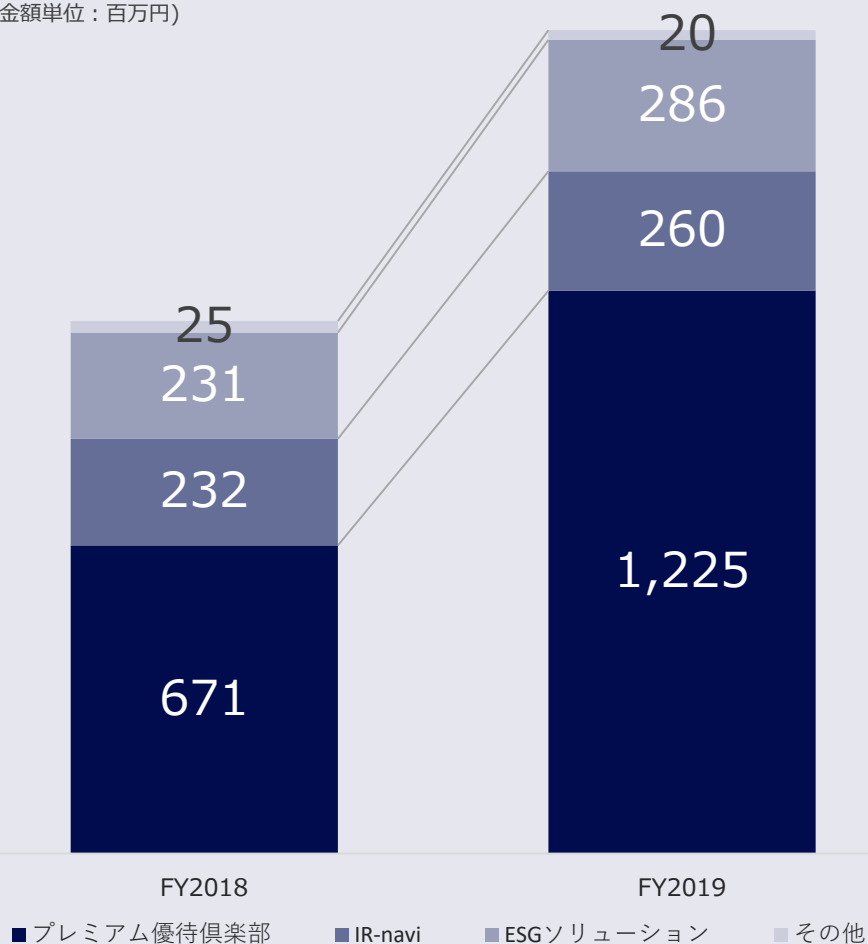
(金額単位：百万円)	FY2018	FY2019 (修正計画)	FY2019 (実績)	計画比	増減率
売上高	1,161	1,793	1,793	100.0%	54.4%
売上原価	591	957	957	100.0%	61.9%
売上総利益	569	835	835	100.0%	46.6%
販売費及び一般管理費	459	525	524	99.8%	14.2%
営業利益	110	310	310	100.2%	181.7%
(営業利益率)	(9.5%)	(17.3%)	(17.3%)	—	—
経常利益	107	309	309	100.2%	187.6%
当期純利益	121	200	201	100.4%	65.4%

営業利益率は、7.8%改善し、17.3%へ
KPIは、単年度ではなく定常的に達成可能な体質を目指す

	KPI	FY2018	FY2019	目標との差異
売上高成長率	20%	78.6%	54.4%	34.4%
営業利益率	20%	9.5%	17.3%	▲2.7%
ROIC	20%	14.9%	24.2%	4.2%

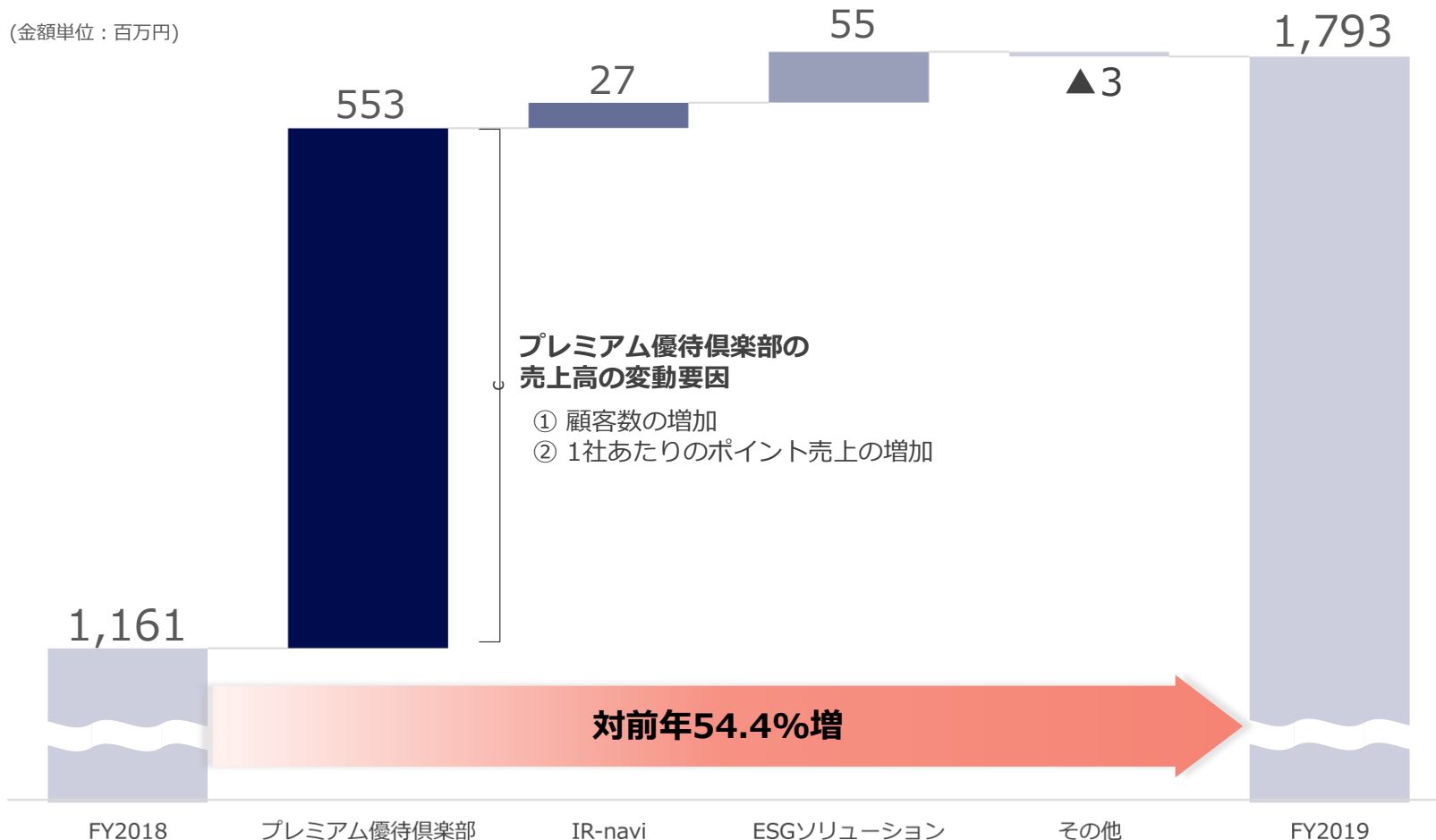
プレミアム優待倶楽部の売上高が82.4%増 ESGソリューションは吸収合併効果が通期で寄与し24.1%増

(金額単位：百万円)

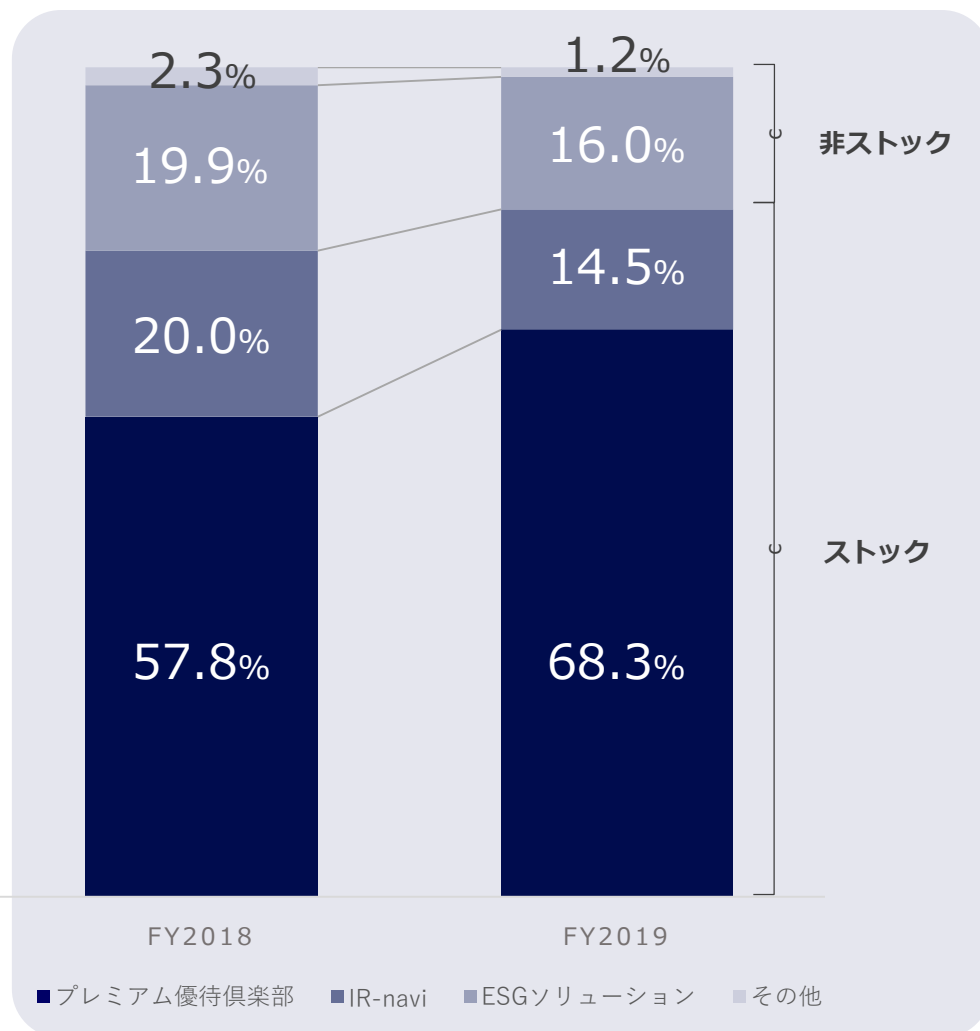


プレミアム優待倶楽部
+82.4%

プレミアム優待倶楽部の売上が全体成長の87.6%を牽引 IR-navi・ESGソリューションとともに堅調に推移



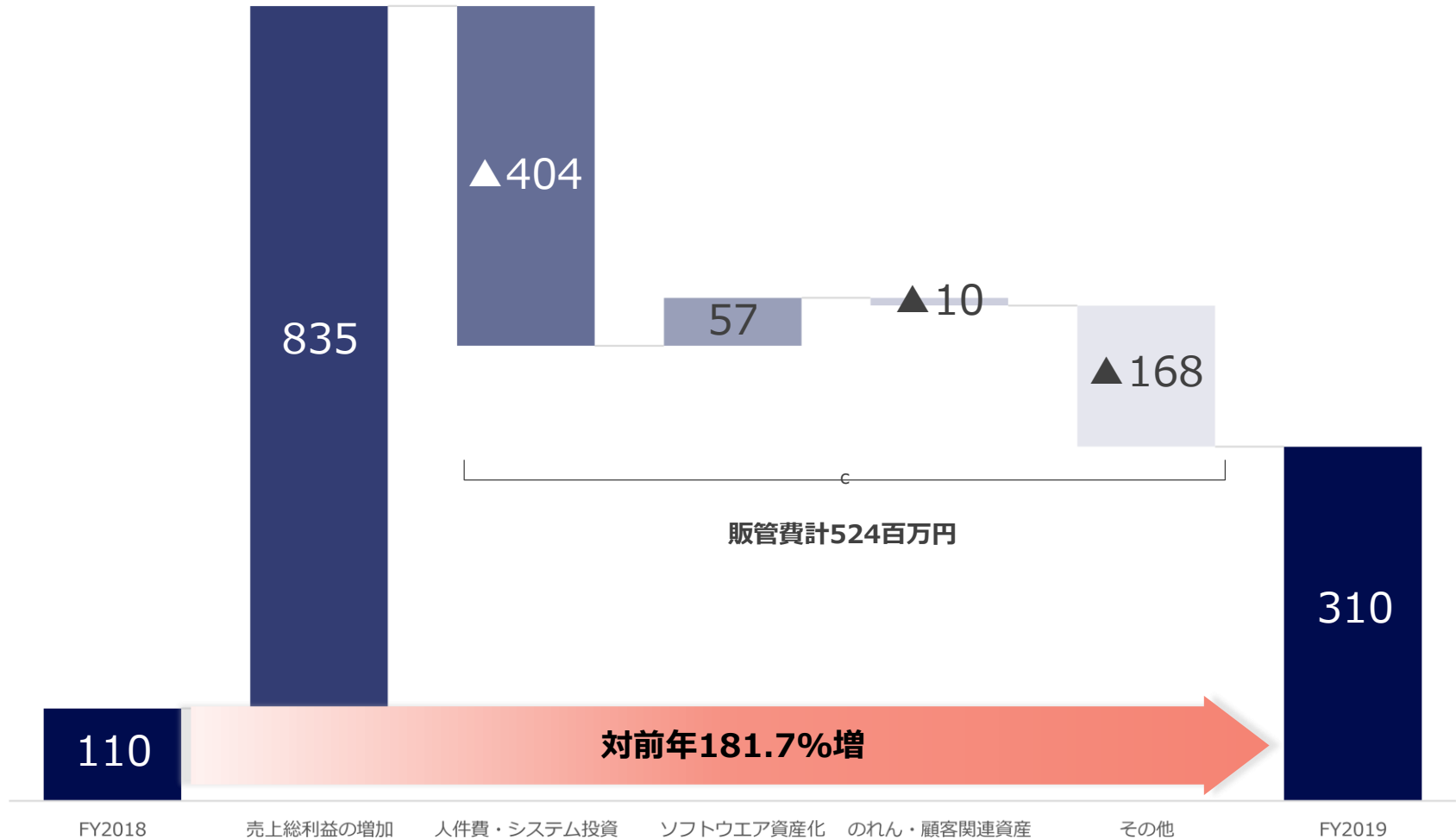
プレミアム優待倶楽部の売上高が全体の68.3%までに拡大 IR-naviと合わせてストック比率が82.8%となり安定成長へ



プレミアム優待倶楽部及びIR-naviは前期の期中で契約したシステム及びポイント利用料は、当期において1年分通期で計上されるモデルであるため、ストック型収益モデルと位置付けております。

主に人件費・システム開発に係る費用が増加 その他本社増床、コールセンターを増強

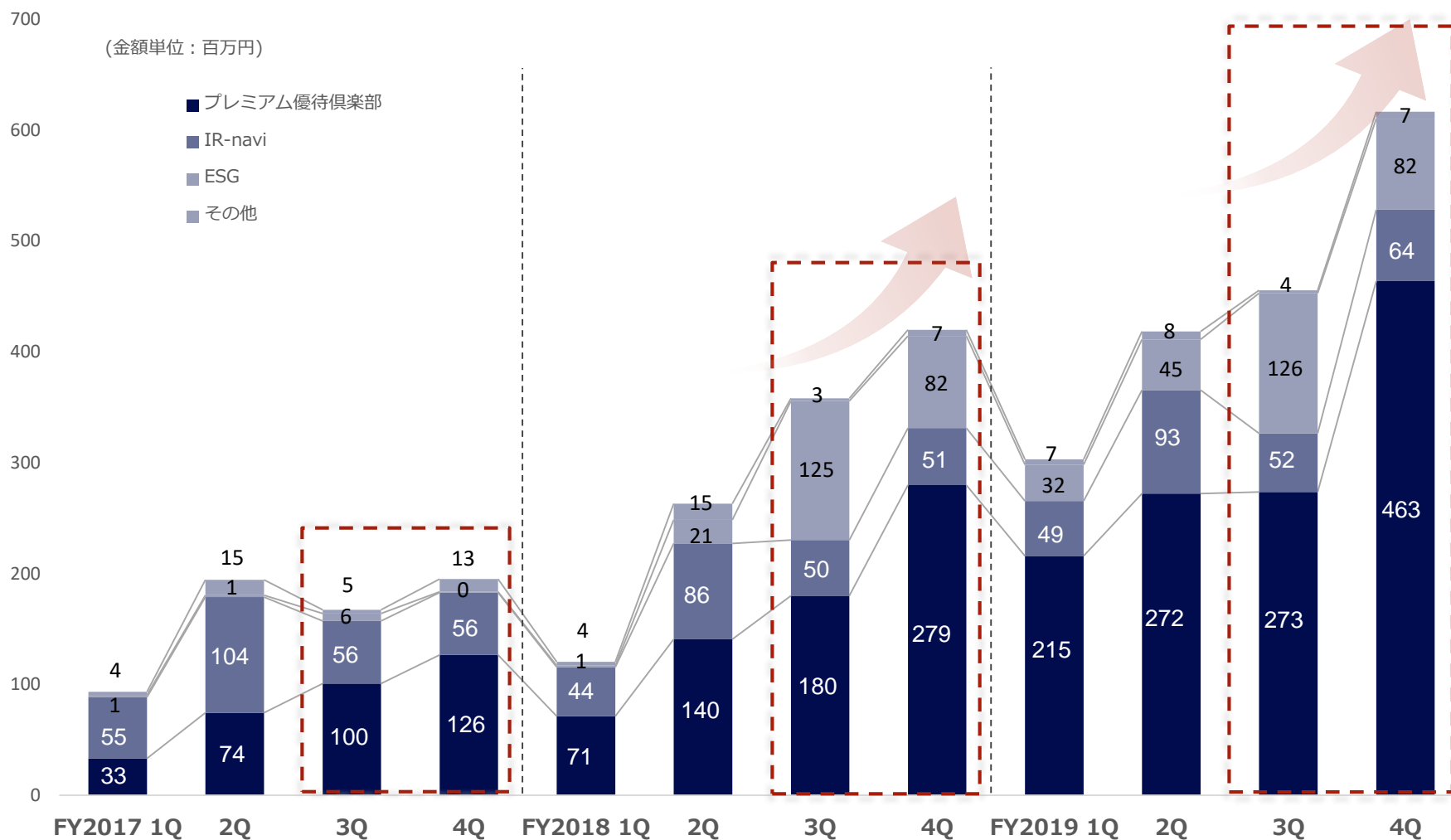
(金額単位：百万円)



人件費・システム開発に関する費用の増加を 売上総利益の増益で吸収

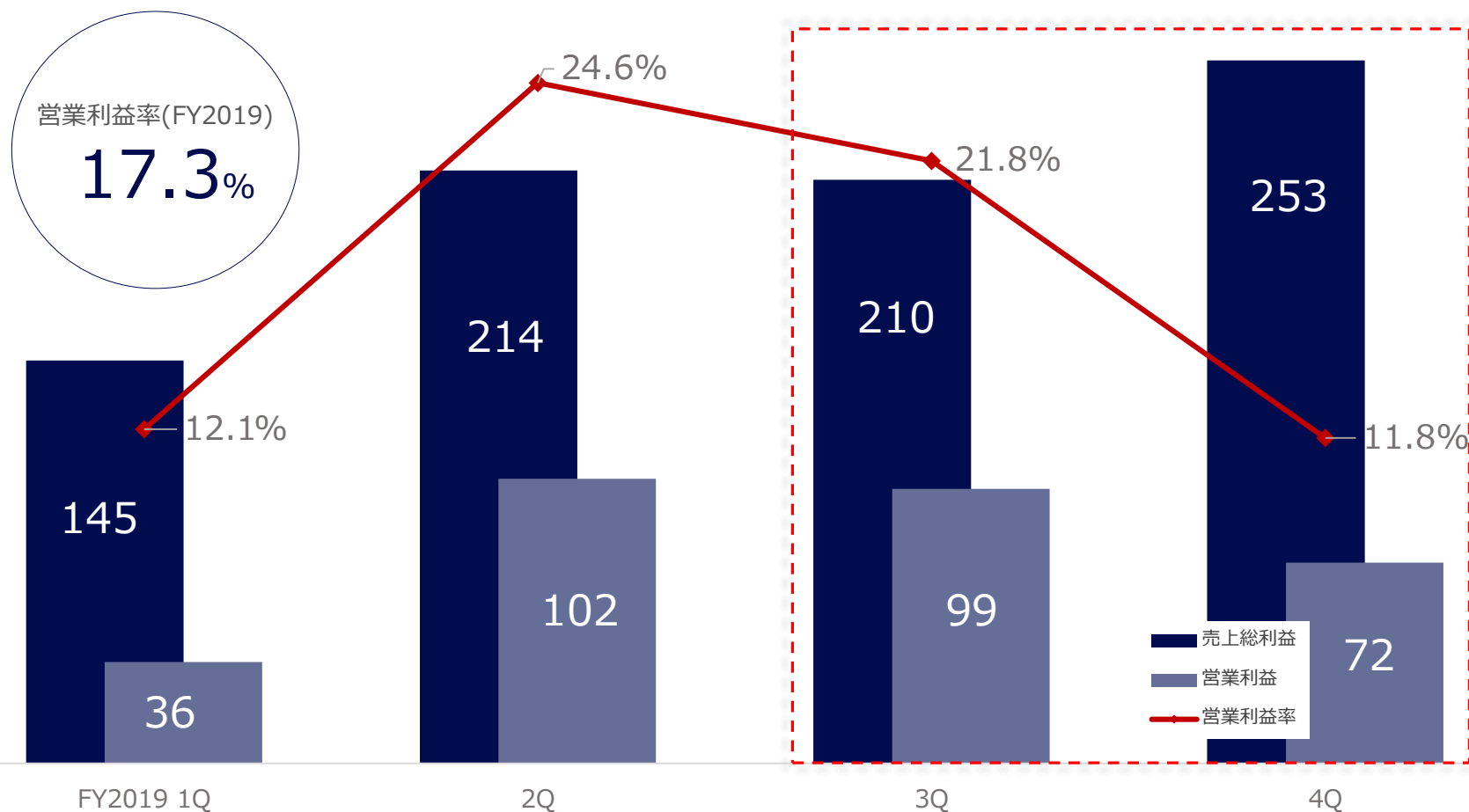
(金額単位：百万円)	FY2018	FY2019	増減率	備考
前期 営業利益	54	110	201.4%	-
売上総利益	569	835	46.6%	増収による増加
人件費	▲317	▲ 404	27.4%	主にシステム開発に係る人員の増加
ソフトウェア資産化	40	57	44.5%	システム開発に係る工数の資産振替分
のれん・顧客関連資産	▲6	▲ 10	70.9%	M&Aにより発生した無形固定資産の通期計上
その他	▲176	▲ 168	▲5.4%	本社増床、上場関連費用等
当期 営業利益	110	310	181.7%	増収による増加

プレミアム優待倶楽の売上高は、顧客企業の株主数の増減、株主優待ポイントの利用時期に影響を受けるため現状は下期偏重の傾向

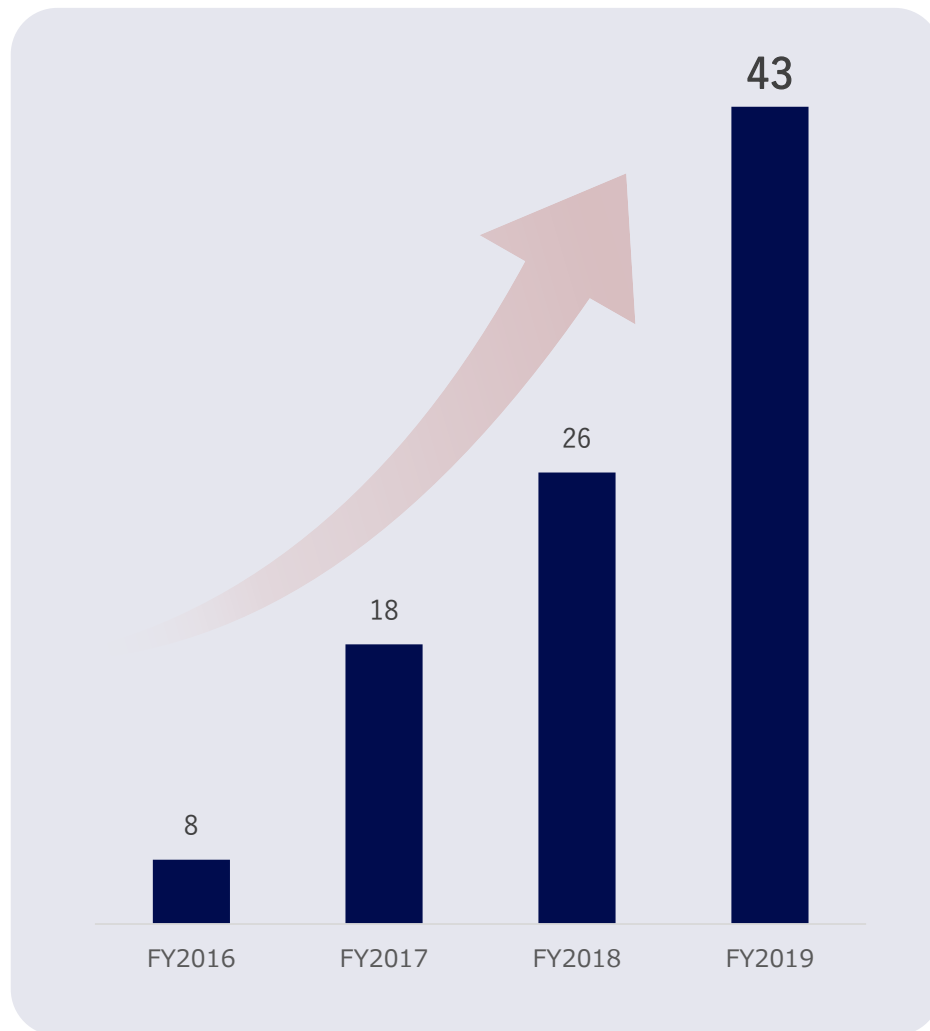


4Qにおいて、決算賞与、本社オフィス増床、 コールセンター増強、上場関連費用が発生

(金額単位：百万円)



プレミアム優待倶楽部の顧客数が43社にまで増加



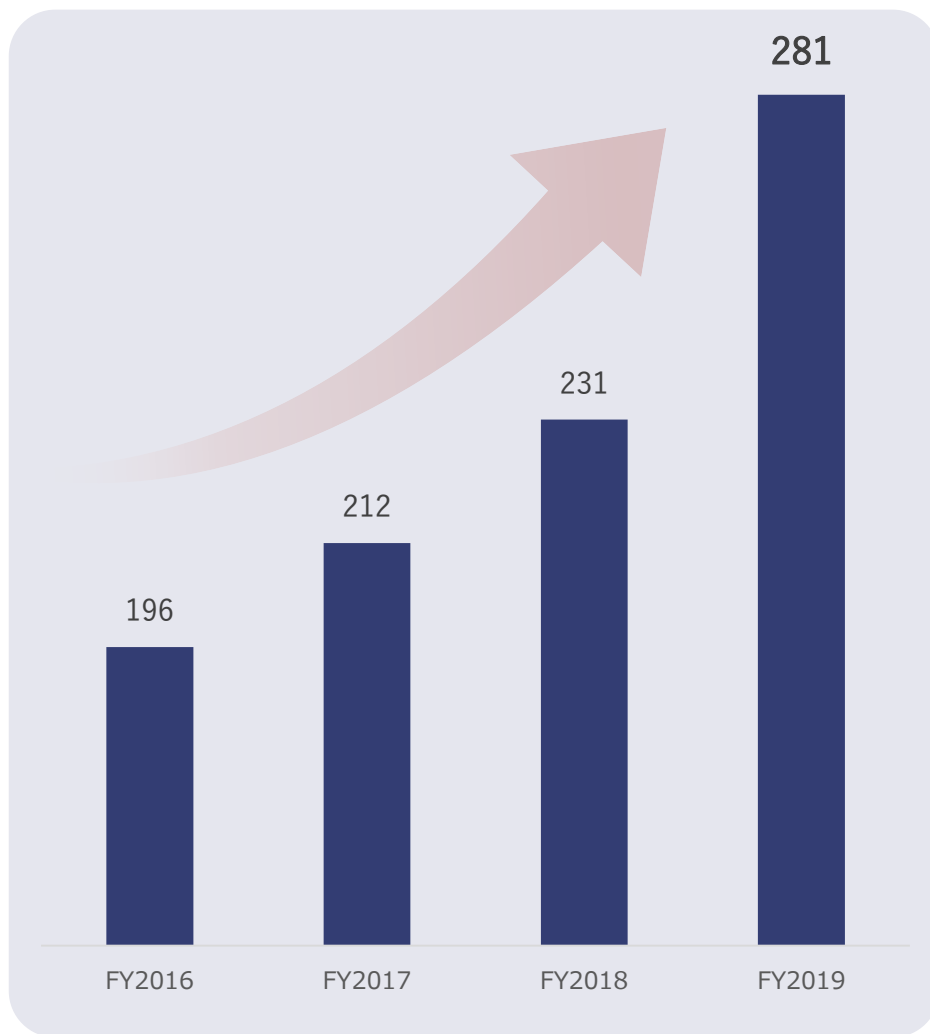
顧客数の増加
(FY2018 → FY2019)

+ 17 社

(参考)
適時開示済み(受注残)の顧客数
47社(2020年1月末時点)

プレミアム優待倶楽部の顧客数は、契約締結済みの顧客数のみカウントしております。また、解約件数については、1社~2社/年を想定しております。

IR-naviの顧客数が281社にまで増加



顧客数の増加
(FY2018 → FY2019)

+ 50社

IR-naviの顧客数には、プレミアム優待倶楽部の顧客数が含まれております。IR-navi単体の顧客数は、238社です。

総資産は827百万円から1,430百万円へ 純資産は252百万円から698百万円へ増加

(金額単位：百万円)	FY2018	FY2019	差額	主な要因
流動資産	554	1,141	587	-
現預金	344	788	444	当期純利益、新株予約権発行、株式発行による増加 借入金返済
売掛金	141	269	128	増収による増加
有形固定資産	10	11	1	-
無形固定資産	216	252	36	ソフトウェア、のれん、顧客関連資産、繰延税金資産の増加、 保険積立金の減少
総資産	827	1,430	603	-
流動負債	376	592	216	買掛金、前受金の増加
買掛金	138	223	85	増収による増加
1年内返済長期借入金	36	26	▲10	1年内返済予定の長期借入金の返済
未払法人税等	15	96	81	未払法人税等の増加
前受金	64	116	52	増収による増加
固定負債	198	138	▲60	長期借入金の返済
株主資本	249	698	449	株式発行による増加
純資産	252	698	446	-

営業CFのキャッシュ創出力が拡大

FY2018のM&Aによる投資影響がなくなりFCFもプラスへ転換

(金額単位：百万円)	FY2018	FY2019	差額	FY2019の主な要因
営業キャッシュフロー	153	358	205	税引前当期純利益304百万円、減価償却費39百万円が寄与
投資キャッシュフロー	▲264	▲83	181	保険積立金解約16百万円、システム開発に係る無形固定資産取得による97百万円の支出
財務キャッシュフロー	170	170	0	新株予約権発行156百万円、株式発行88百万円、長期借入金返済71百万円
現金及び現金同等物の増減額	59	444	385	-
現金及び現金同等物の期首残高	189	343	154	-
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	95	-	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	343	788	445	-



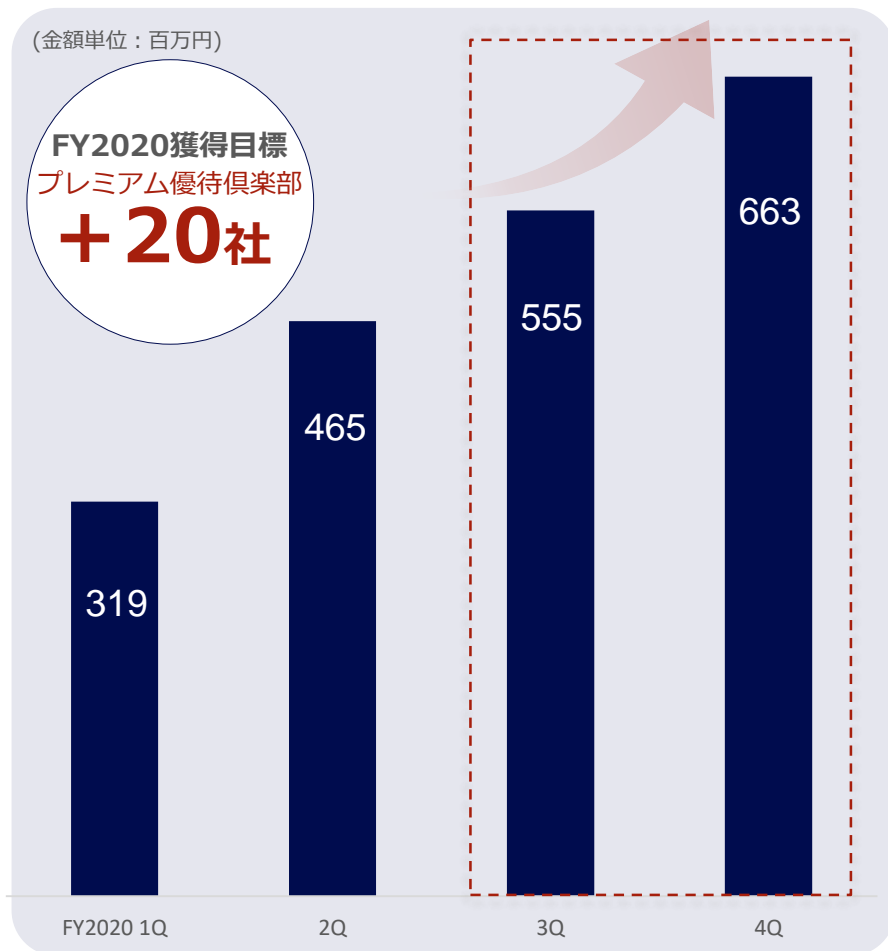
2. FY2020 業績見通し

売上高は蓋然性の高い積み上げ計画で策定し、 中期目標KPIの達成を目指す

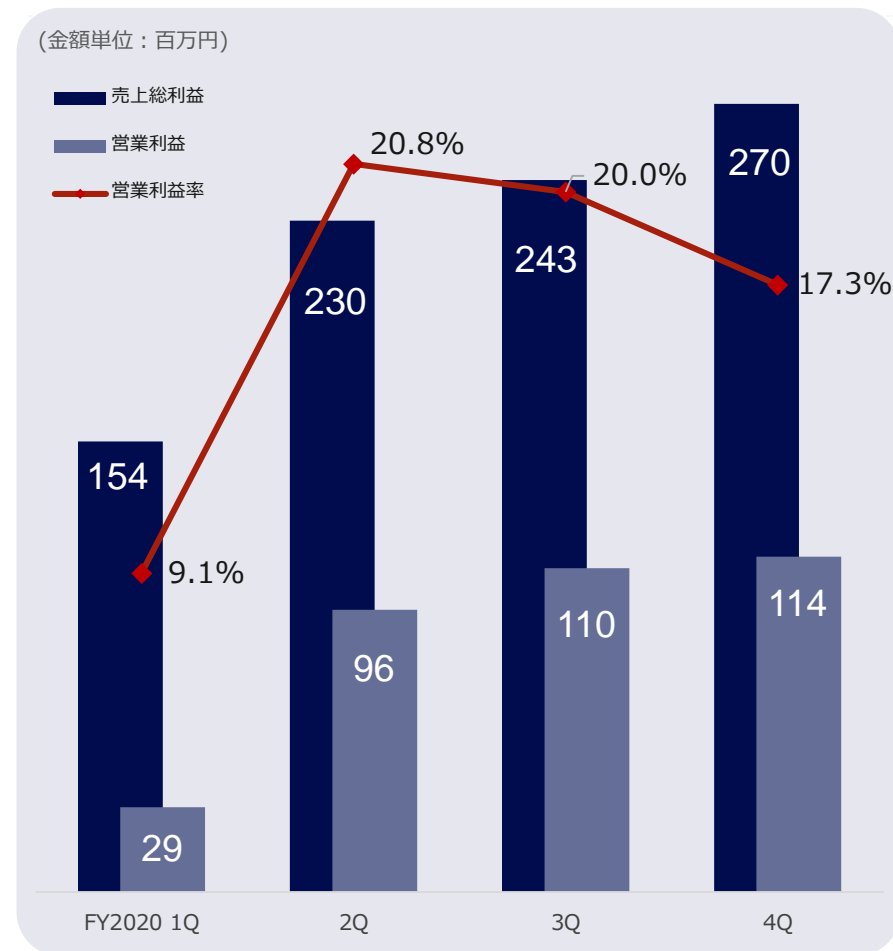
(金額単位：百万円)	FY2019	FY2020	増減率	主な要因
売上高	1,793	2,003	11.7%	株主管理プラットフォーム事業の拡販
(売上高成長率)	54.4%	11.7%	—	中期目標KPI：20%
売上原価	957	1,104	15.3%	ソフトウェア償却、サーバー運用保守+36百万
売上総利益	835	898	7.6%	増収に伴う増加
販売管理費	524	546	4.3%	営業、開発人員の採用を8名計画 +56百万(ソフトウェア資産化▲42百万)
営業利益	310	351	13.1%	増収に伴う増加
(営業利益率)	17.3%	17.6%	—	中期目標KPI：20%
経常利益	309	351	13.4%	増収に伴う増加
当期純利益	201	240	19.2%	—

FY2019同様下期偏重の売上高、営業利益の進捗となる見通し 通期計画の売上高進捗率は1Q:15.9%、2Q:39.1%、3Q:66.8%を計画

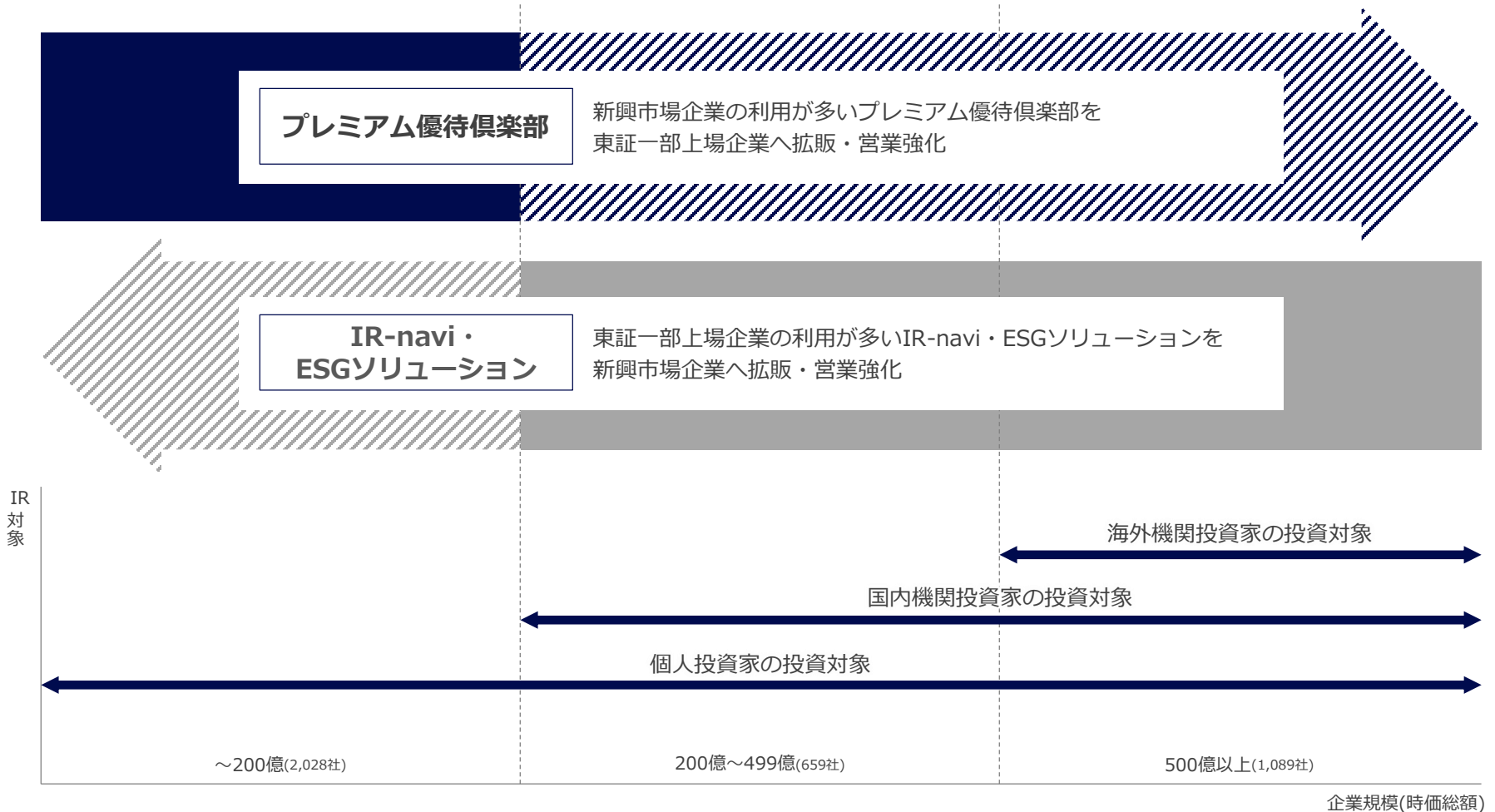
■ 売上高の進捗イメージ



■ 売上総利益/営業利益の進捗イメージ



プレミアム優待倶楽部は、株式上場を機に 時価総額500億円以上の大企業群にも拡販を計画



※ 上場企業社数は2019年9月末日時点。東京証券取引所以外の地方証券取引所上場企業も含む。

プレミアム優待倶楽部会員の満足度向上のため、 現行約4,400点の優待商品を質・量ともに拡充させていただきます

P = プレミアム優待倶楽部PORTALで取り扱い



【20,000 point】
株探プレミアム
12か月 利用券



【34,000 point】
Nintendo Switch



【34,000 point】
PlayStation 4



【47,000 point】
バルミューダ ザ・レンジ



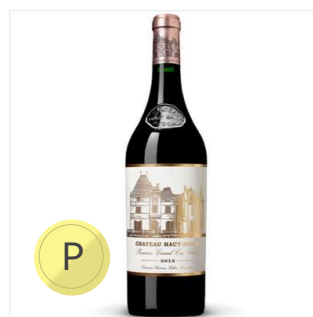
【30,000 point】
パーミックス



【110,000 point】
ザ・ペニンシュラ東京
ペア宿泊&ディナークルーズ



【68,000 point】
<PING>
G410 PLUS



【86,000 point】
2011年 CH オー・
プリオン

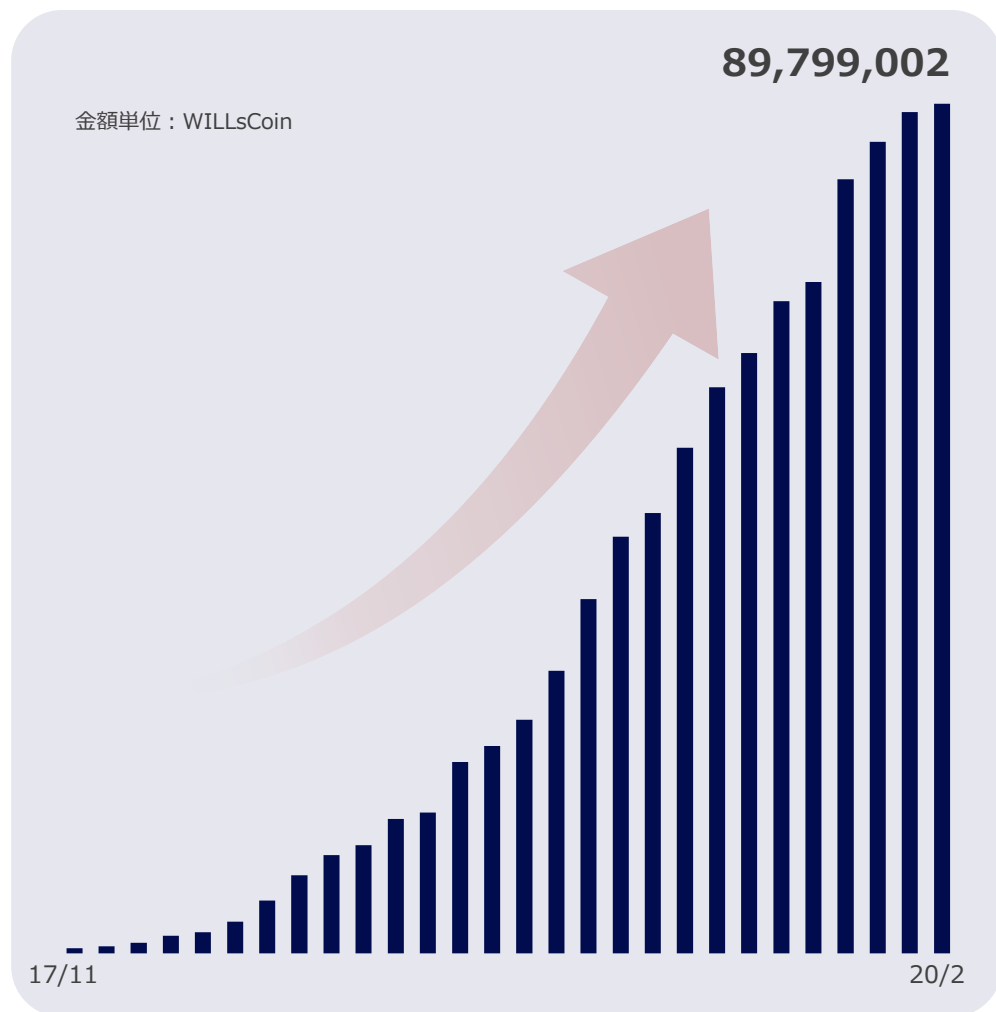


【10,000 point】
ふく冬の懐石



【15,000 point】
近江牛 ロース肉
しゃぶしゃぶ用 480g

ブロックチェーン技術を活用した株主優待共通コインである WILLsCoinへの交換が大きく進む。



WILLsCoinの発行数
(2019/01 → 2020/01)

+300%

事業報告書、招集通知等の法定書類の発送、 印刷にかかる総コストは500億円程度(当社調べ)

- 今後予定される会社法改正を機に、
招集通知の電子提供、電子議決権に対する需要拡大を期待


	プレミアム優待倶楽部〈デジタル〉	従来サービス〈アナログ〉
電子版法定書類	○	×
電子議決権行使	○	×
電子アンケート	○	×
株主プロフィールの分析	○	△
株主とのコミュニケーション	○	×
コスト削減	郵便代金がかからない	毎年、郵便代金がかかる (500~1,000円/通)

1 記念配当を実施

2019年12月17日の東証マザーズ市場への上場を記念して、1株あたり10円の記念配当を行います。

2 成長のための内部留保の充実

成長過程にある現在、内部留保の充実を図り、収益基盤強化のための投資に充当することで更なる事業拡大、および企業価値向上を目指すことが株主に対する利益還元と考えております。ただし、中長期的には、安定的かつ継続的な配当を含めた株主還元を検討してまいります。



3. Appendix

商 号	株式会社ウィルズ
設 立 日	2004年10月18日
上 場 日	2019年12月17日(東証マザーズ・情報通信：4482)
本 社 所 在 地	東京都港区虎ノ門三丁目2番2号 虎ノ門30森ビル
代 表 者	代表取締役社長CEO 杉本 光生
資 本 金	190,645千円
従 業 員 数	約70名
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">● プレミアム優待倶楽部、及びプレミアム優待倶楽部PORTALの運営● IR-naviの運営● ESGソリューション(統合報告書・アニュアルレポート等の企画・制作)

杉本 光生

代表取締役社長CEO

経歴

1991年 4月 株式会社リクルートコスモス(現 株式会社コスモスイニシア)入社
1992年 7月 株式会社インテリジェンス(現 パーソルキャリア株式会社)入社
1993年 4月 株式会社アイ・アールジャパン入社
1997年 4月 株式会社ストラテジック・アイアール入社
1999年10月 ジー・アイアールコーポレーション株式会社 取締役就任
2001年 4月 同社専務取締役就任
2004年10月 当社設立
代表取締役社長CEO就任(現任)

代表者略歴

株式会社リクルートコスモス、株式会社インテリジェンスでの営業経験を経て、株式会社アイ・アールジャパンに入社。その後、株式会社ストラテジック・アイアールの経営に参画し、2001年の合併による新会社ジー・アイアール・コーポレーション株式会社の取締役に就任。

2004年10月に当社を設立し、代表取締役社長CEOに就任。15年に及ぶIRコンサルティングの経験を活かし、効率的なIR活動の実現を目指してIRナビゲーションシステム(現在の「IR-navi」)を考案・プロデュース。一方、個人投資家と機関投資家との間にある投資情報格差を是正すべく、個人投資家向け株主優待サイト「プレミアム優待倶楽部」を考案し、国内上場企業に対して戦略的個人投資家向けIRを提唱。日本IR協議会メンバー。

主な著書

- 「インターネットIR戦略入門」(共著/東洋経済)
- 「新規公開・上場のためのIRコミュニケーション戦略マニュアル」(共著/中央経済社)
- 「貧血日本」(ダイヤモンド・ビジネス企画)

蓮本 泰之

専務取締役CFO

2001年三菱商事株式会社入社、アセットファイナンス事業、投資等金融サービスの立上げに従事。2013年より株式会社ローソンへ出向し、経営企画、金融サービスの立ち上げに従事。2016年三菱商事株式会社に帰任後、決済、ポイント、Fintech周辺の事業開発・推進を担当。2017年1月より当社へ参画。

加藤 正明

常務取締役

小柳証券株式会社(現三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)、印刷会社、IR支援会社を経て、2000年にIR、CSR、ESGソリューションの提供を行うアレックス・ネット株式会社を設立。
2018年6月より株式会社ウィルズとの経営統合により現職。

上川 博史

取締役

日興証券株式会社(現SMBC日興証券株式会社)にてアービトラージ・ポジションの運用を担当し機関投資家をサポート。興銀証券株式会社(現みずほ証券株式会社)を経て外資系投資顧問会社に移籍。ファンドマネージャーとしてヘッジファンドを運用。独立系IR会社にてIRコンサルタントを経て、2004年の当社創業初期より参画。

山本 章代

取締役

ロンドン大学SOAS(ICC Foundation programme)修了。独立系IR支援会社を経て、2000年にアレックス・ネット株式会社に取締役として参画。PRIR(現、宣伝会議)創刊号より海外アニュアルレポートを紹介する連載記事を担当。海外ネットワークを活かしたIRコミュニケーション支援に実績。特定非営利活動法人個人投資家協会理事。
2018年6月より株式会社ウィルズとの経営統合により現職。

青山 洋一

社外取締役

株式会社ビーアイジーグループ(現株式会社エム・エイチ・グループ)設立し、1997年に日本証券業協会に店頭登録(現・JASDAQ)。
2015年9月より当社社外取締役として就任。

平野 喜和

常勤監査役

株式会社協和銀行(現株式会社りそな銀行)入行し、1992年株式会社あさひ銀行(現株式会社りそな銀行)新丸ビル支店長に就任。
2018年3月より当社常勤社外監査役として就任。

鈴木 行生

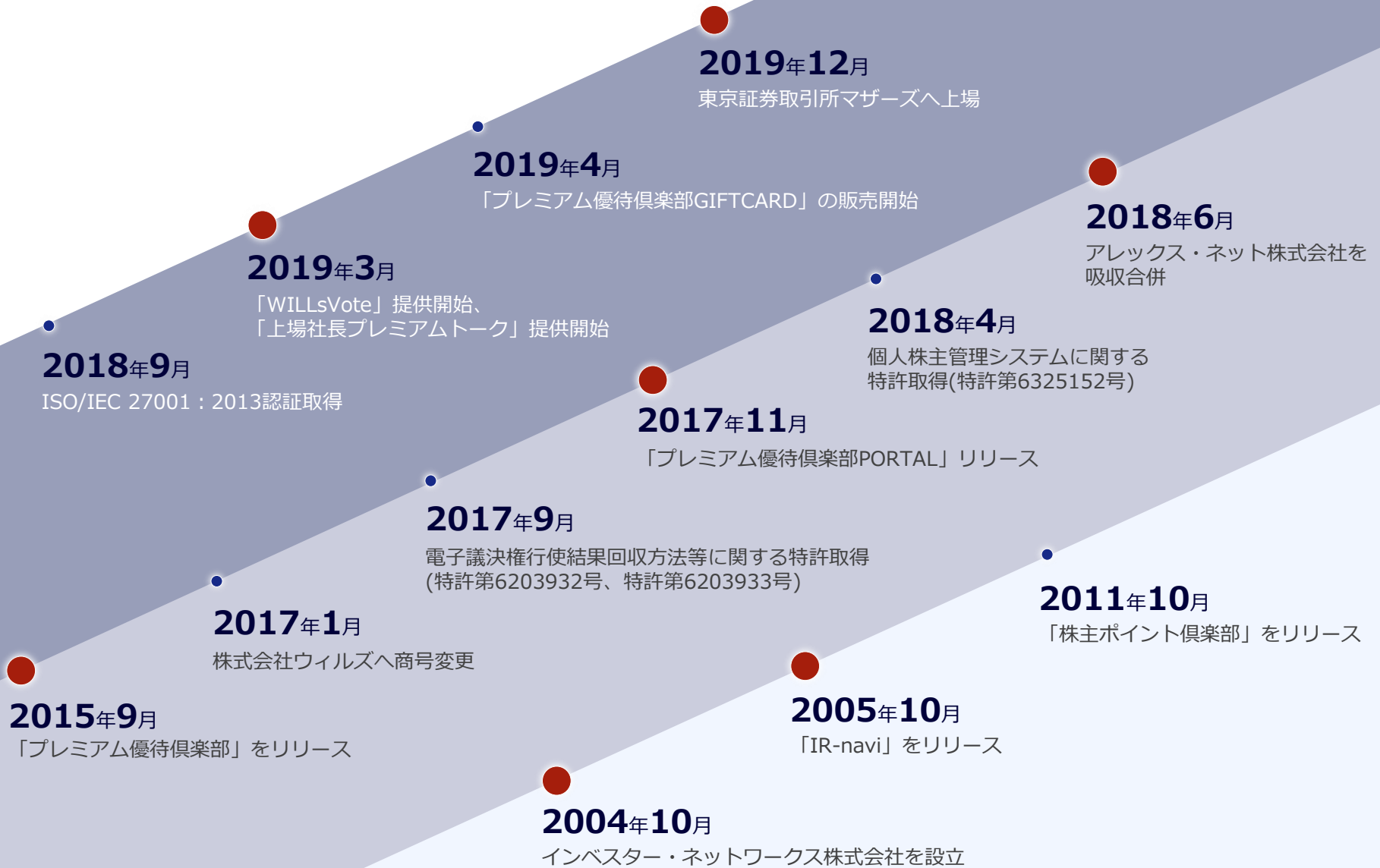
監査役

1997年野村證券株式会社取締役金融研究所長。2000年野村アセットマネジメント株式会社常務執行役員。2005年野村ホールディングス株式会社取締役就任。2007年社団法人日本証券アナリスト協会会長。2010年7月株式会社日本ベル投資研究所を設立しアナリストとして活動。
2018年3月より当社非常勤社外監査役として就任。

野田 清人

監査役

2000年、網野会計事務所入所。2004年木下会計事務所(現税理士法人木下会計事務所)入所。2008年8月税理士登録。
2017年3月より当社非常勤社外監査役として就任。



※ 2019年9月末日現在

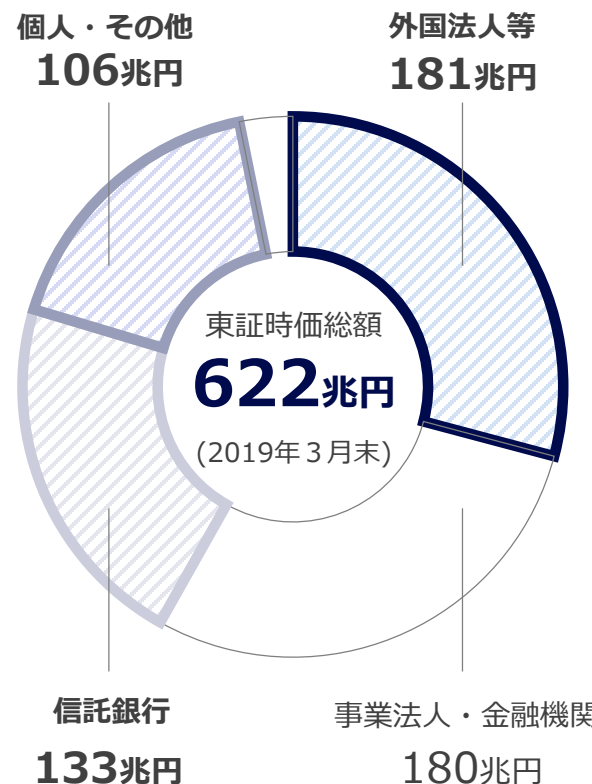
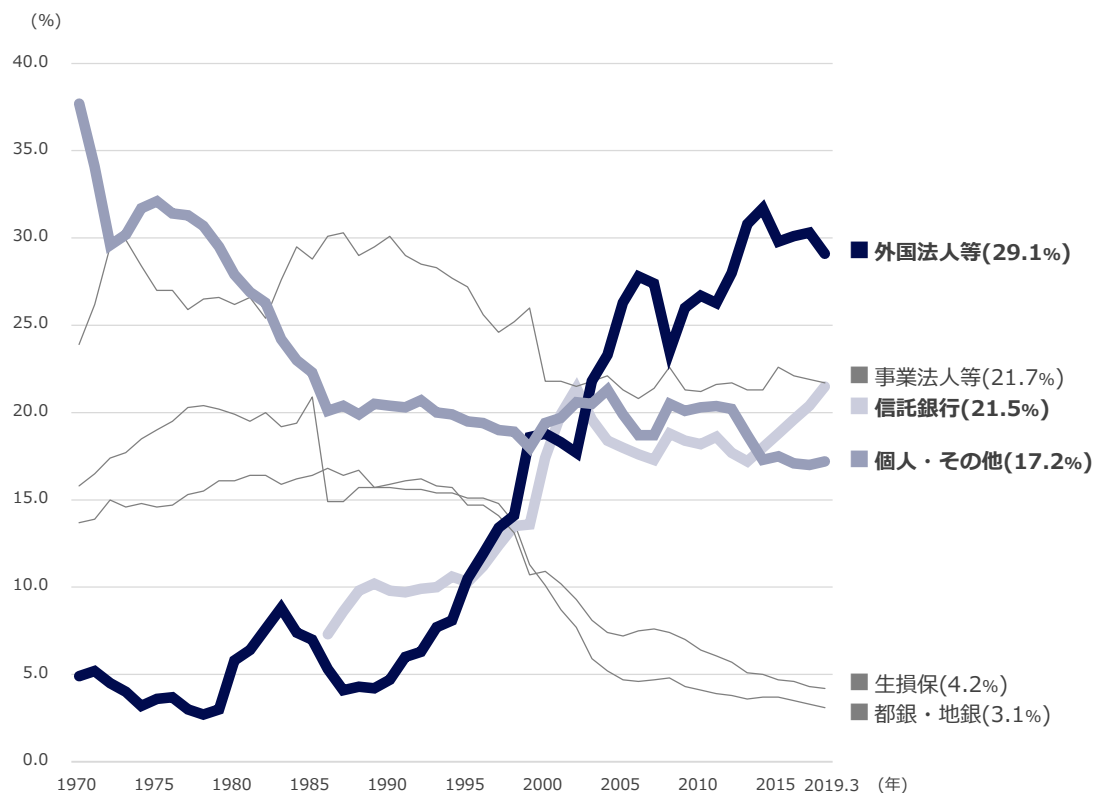
上場企業の株主ポートフォリオの最適化支援を目的として創業

投資部門別株式保有比率の推移(2019年3月末)

- バブル崩壊を経て持合株の売却が進み、物言わぬ株主の比率が低下
- 外国人投資家の保有比率の上昇・生損保の保有比率の減少が顕著

投資部門別株式保有割合(2019年3月末)

- 事業法人・金融機関の保有比率は減少傾向
- 持合解消の受け皿として個人投資家に期待



(出所)東京証券取引所 2018年度株式分布状況調査「投資部門別株式保有比率の推移」より当社作成。

(出所)東京証券取引所 2018年度株式分布状況調査「投資部門別株式保有金額」より当社作成。

Mission

効率的な資本市場の実現と企業価値の最大化を支援



Vision

上場企業・機関投資家・個人投資家の架け橋となる
株主管理プラットフォームをクラウド※1上に形成



目指す世界

1,860兆円※2の個人金融資産を株式市場へ
～政府が支持する「貯蓄から投資(資産形成)」を支援～

※1 クラウド：アプリケーション機能をインターネット経由で提供すること。

※2 日本銀行「資金循環統計(2019年4-6月期(速報)2019年6月末)」



上場企業



ブロックチェーン技術を活用した 株主管理プラットフォーム※1

(WILLSCoin・WILLSVote)※2



国内機関投資家

- 株式保有状況
- IR情報の配信
- コンタクト履歴の管理
- IRイベントの運営



個人投資家

- 法定書類の電子化/
電子版事業報告書
- IR情報の配信
- アンケートの管理
- 株主優待の提供
- 電子議決権行使



海外機関投資家

- 株式保有状況
- IR情報の配信
- コンタクト履歴の管理
- IRイベントの運営

※1 株主管理プラットフォーム：取引先の上場企業と機関投資家及び個人投資家をクラウド上でつなぎ、インタラクティブに情報の取得・交換を行えるプラットフォームである、機関投資家マーケティングプラットフォーム「IR-navi」、個人投資家マーケティングプラットフォーム「プレミアム優待倶楽部」、顧客企業毎に異なる株主優待ポイントの合算利用を可能とするブロックチェーン技術を活用した「プレミアム優待倶楽部PORTAL」の総称。

※2 特許第6325152号

サービス	プレミアム優待倶楽部	プレミアム優待倶楽部 PORTAL	IR-navi	ESGソリューション
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 株主優待商品交換サイト ● 株主構成の最適化設計 ● オンラインでの株主とのコミュニケーション ● 法定書類の電子化 ● 電子議決権行使 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各社の株主優待ポイントを「WILLSCoin」で合算 ● 株主以外も利用可能な株主優待商品交換サイト ● 3,000点超の株主優待商品 ● 株主優待情報の取得 	<ul style="list-style-type: none"> ● 100,000名以上の国内外ファンドマネージャー、アナリスト情報 ● 機関投資家の株式保有状況、投資スタイルの分析 ● メール配信、IR活動履歴 ● 電子議決権の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 統合報告書・アニュアルレポート、CSRレポート等の制作およびチャネル・手法も提案 ● 2019年WICI統合報告優秀企業賞、日本精工の案件で大賞、日立製作所の案件で奨励賞を受賞
技術	<ul style="list-style-type: none"> ● クラウド※1 ● ブロックチェーン※2 			-
提供先	上場企業	上場企業株主 ・ 一般消費者	上場企業	
ユーザー	上場企業株主			

※1 クラウド：アプリケーション機能をインターネット経由で提供すること。

※2 ブロックチェーン：情報通信ネットワーク上にある端末同士を直接接続して、取引記録を暗号技術を用いて分散的に処理・記録するデータベースの一種。議決権行使の集計及び株主優待ポイントの合算、利用の記録について、データの改竄防止やセキュリティ強化を目的としてブロックチェーン技術を活用しております。

個人株主ポートフォリオの最適化を実現



株主優待のポイント化によるメリット

- 戦略的なポイント設計による株主構成の最適化
- ポイント繰越制度による長期保有株主の創出
- 全国から集めた優待商品と交換可能
- 電子議決権行使等に対するアクションポイントの付与

株主電子化により、株主とのコミュニケーションを促進

- 株主プロフィール情報の把握
- 取得した株主のメールアドレスに向けたメール配信
- 株主へのアンケート機能
- 株主による電子議決権行使機能(WILLSVote)

※ 2019年12月末日現在

他社の株主優待ポイントを「WILLsCoin」で合算し、 より高額な優待商品との交換が可能

株主優待サイト「プレミアム優待倶楽部」

プレミアム優待倶楽部では、保有年数・保有株数に応じた**優待ポイント**が進呈されます。優待ポイントはさまざまな**優待商品**と交換することができます。

※実際に付与される優待ポイント数、および交換可能な優待商品については、各社プレミアム優待倶楽部をご参照ください。



複数銘柄の
優待ポイントを
合算する株主が
急増中

順位	WILLsCoinの残高
1	475,450WILLsCoin
2	399,200WILLsCoin
3	363,200WILLsCoin
4	301,000WILLsCoin
5	289,750WILLsCoin

各社優待ポイントをWILLsCoinと交換

各社独自の優待ポイントを**WILLsCoin**と交換することで**優待ポイントを合算**することができます。優待ポイント同士を合算することで、**よりグレードの高い商品との交換**が可能になります。

PORTALサイト「プレミアム優待倶楽部PORTAL」

プレミアム優待倶楽部PORTALでは、商品交換時にWILLsCoinの他に**クレジットカード**もご利用いただけます。



優待商品の一例



高級和牛



Nintendo Switch



高級ワイン



ゴルフクラブ



空気清浄機

目的別にポイント設計を行うことで、自社に最適な個人株主層を形成

●特定単元の株主数が変化

保有株式数	投資金額	付与ポイント	利回り
100株	100千円	0pt.	0%
500株	500千円	15,000pt.	3.00%
1,000株	1,000千円	40,000pt.	4.00%
5,000株	5,000千円	60,000pt.	1.20%

一般的な株主優待では、小口株主の利回りが最も高くなる傾向があるが、「プレミアム優待倶楽部」では、**意図した単元の株主を増加/減少**させる効果を期待。

※ 左の例では、100株の株主が減少し、1,000株保有の株主が増加する。

●長期保有の安定株主が増加

保有年数	100株	500株	1,000株	5,000株
～1年(1.0倍)	0pt.	15,000pt.	40,000pt.	60,000pt.
～2年(1.2倍)	0pt.	18,000pt.	48,000pt.	72,000pt.
～3年(1.3倍)	0pt.	19,500pt.	52,000pt.	78,000pt.

保有年数ごとに追加優遇ポイントを付与することで**長期安定保有の株主を増加**させる効果を期待。

●株主とのコミュニケーションを促進

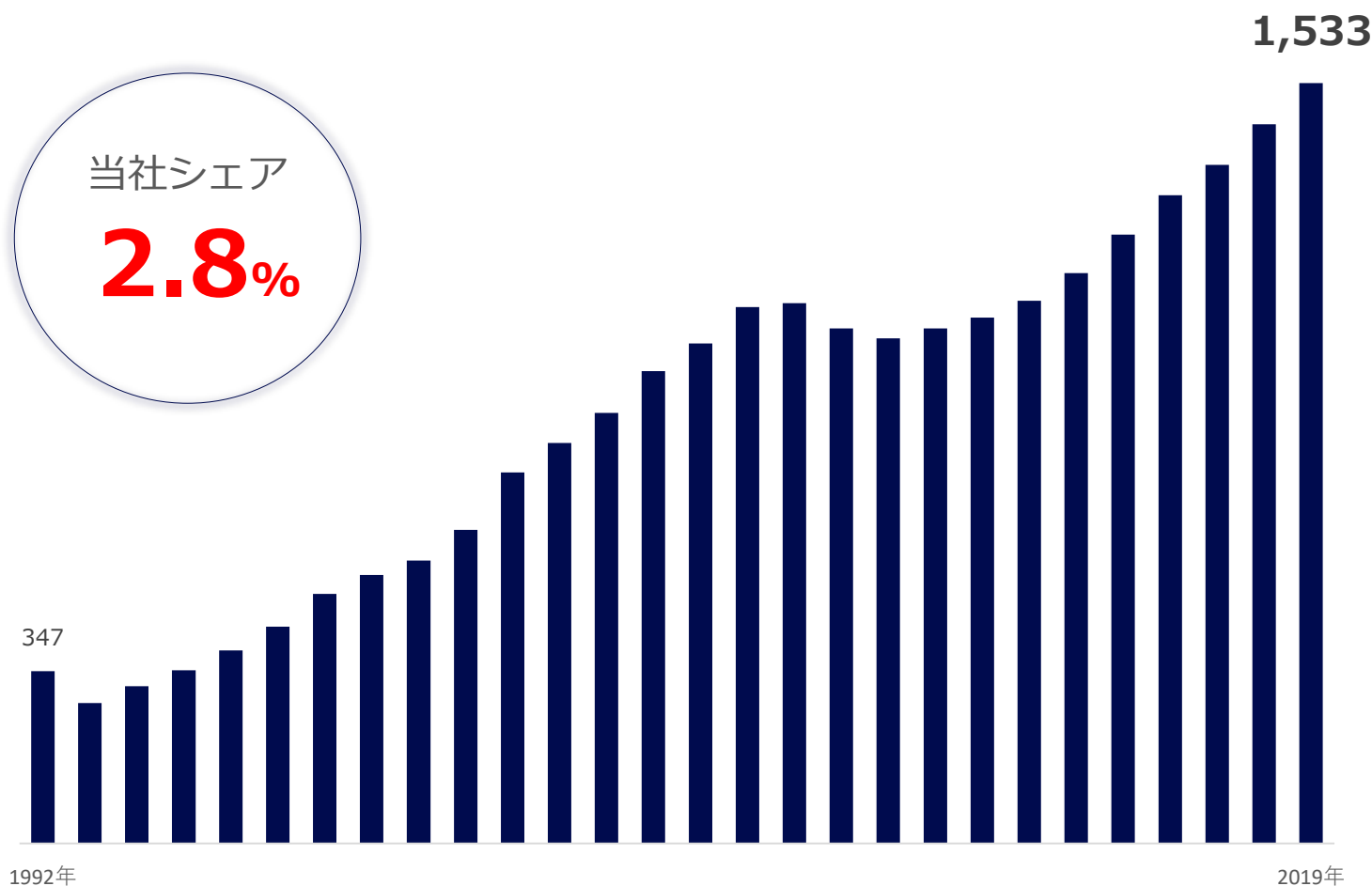
株主アクションポイントの一例

- | | |
|------------------|---------------|
| 1.プレミアム優待倶楽部への登録 | 4.社長メッセージ動画閲覧 |
| 2.電子議決権行使 | 5.アンケート回答 |
| 3.株主ポスト閲覧 | 6.サイトへのログイン |

株主のアクションに対してポイントを付与することで、**会員登録やIR効果の向上、議決権回収の一手段として活用が可能。**

※ 株主アクションポイント数についても、自由に設計が可能

株主優待制度導入企業は過去30年増加の一途で、 上場企業数自体の増加も期待



(出所)東京証券取引所の資料より当社作成 2019年12月末日時点

潜在機関投資家へ効率的なアプローチの他、議決権行使結果の管理が可能

顧客数
281社※

IR-navi Login
ID
Pass
ログイン

IR-naviのご案内
ファンドマネージャー・アナリストの方

状況を把握し分析するためのIRナビ・ツール
株式保有状況サーチ
国内の投資（ファンド）および海外のファンド（ミューチュアル）を組み入れている銘柄と株式数を月次集計により把握することができます。自社に加え、上場会社全体の保有が閲覧できます。

情報を利用・管理するためのIRナビ・ツール
機関投資家ターゲティング
自社や他社の機関投資家による株式保有状況などの分析結果をもとに、機関投資家のターゲティングリストを作成することができます。

投資家プロフィール

- 国内運用機関 259機関
- 国内証券会社 74社
- 海外機関投資家 約9,000社

投資家データベース

- 国内アナリスト・ファンドマネージャー 約4,000名
- 海外ファンドマネージャー 約100,000名

投資家保有状況閲覧

- 国内機関投資家の保有株数の把握
- 海外機関投資家の保有株式の把握
- 大量保有状況のアラート機能
- 地域・エリア別の運用総額ランキング情報

投資家ターゲティング

- 国内外機関投資家の保有株数の推移
- 同業他社比較機能
- 機関投資家別日本株運用資産の状況
- 投資スタイル別ファンド検索機能(Growth、Value、GARP、中小型等)

IRイベント管理

- IRカレンダー機能(決算説明会、IR-meeting、個別取材対応等の管理機能)
- 投資家プロフィール検索(ファンドマネージャー、アナリストの連絡先、メールアドレス等)
- 一斉メール配信機能
- 投資家面談履歴の管理機能

個人株主管理

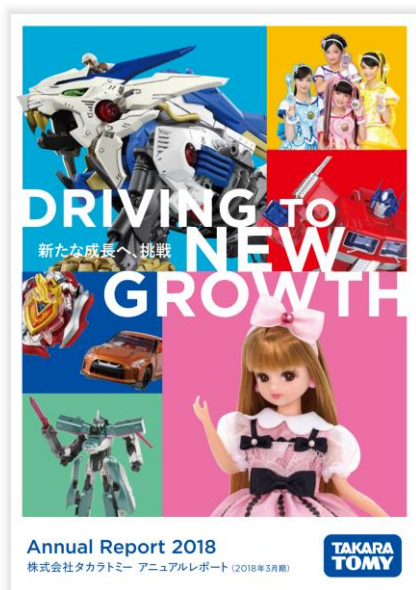
- 個人株主の電子名簿管理機能(住所、電話、e-アドレス、年収、運用資産額、職業等)
- 個人株主向けアンケート機能
- 個人株主ポストへの法定書類及び議決権行使書の配信機能

※ 2019年12月末日現在

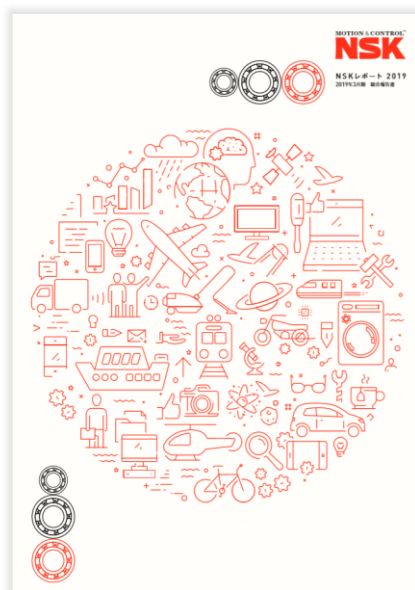
2018年6月に、統合報告書などを企画するアレックス・ネット株式会社を吸収合併

当社がサービス提供した企業は、WICIジャパン(知的資産/資本やKPIの開示改善を目指す国際団体(世界的資本・知的資産推進構想)の日本組織)による統合報告優良企業賞の同時複数受賞など国内外多数の賞を受賞。

株式会社タカラトミー



日本精工株式会社



株式会社日立製作所



MS&AD インシュアランスグループ ホールディングス株式会社



2019年WICI
統合報告優秀企業賞

大賞

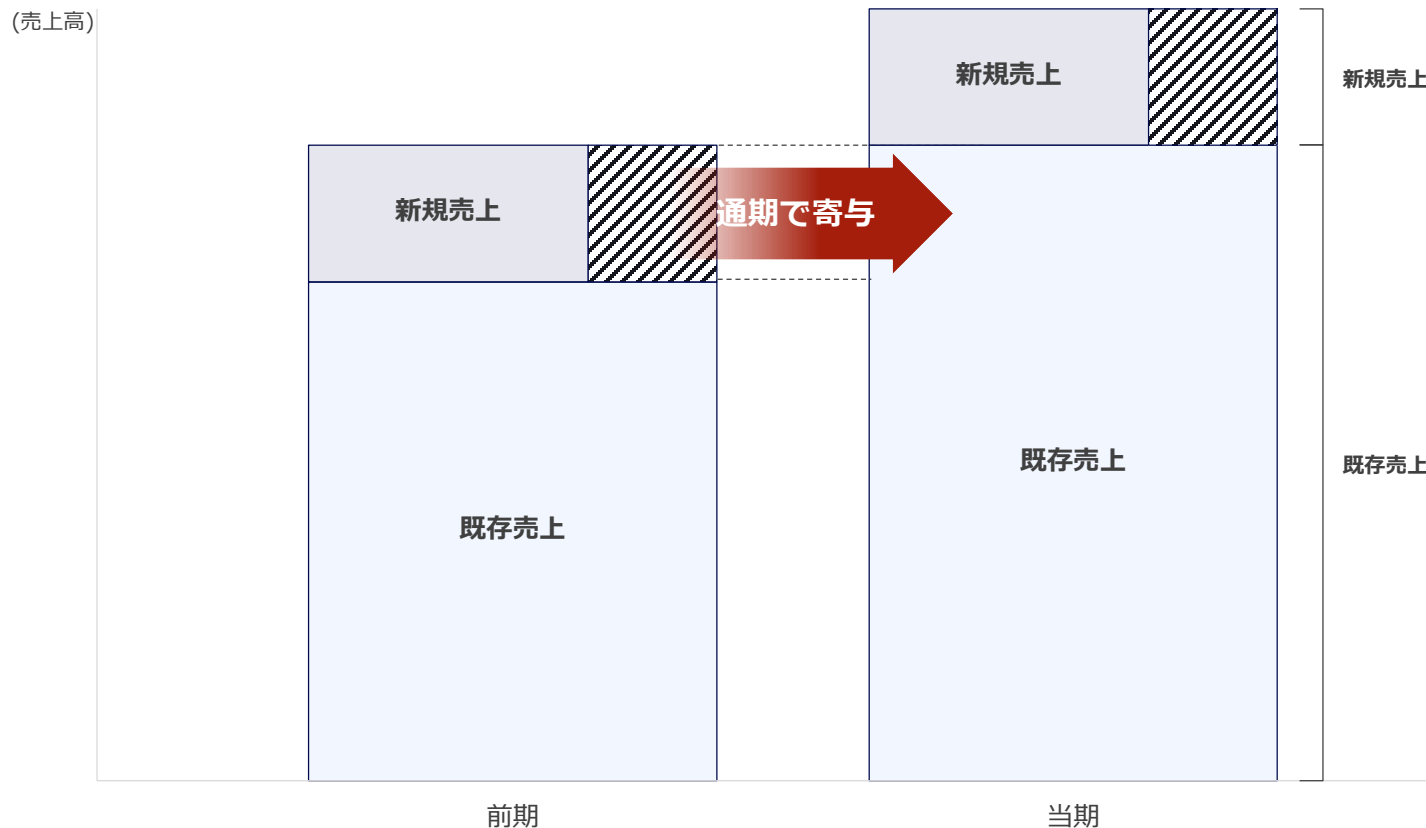
2019年WICI
統合報告優秀企業賞

奨励賞

日経アニュアルレポート
アワード2018

グランプリ

前期の期中で契約したシステム及びポイント利用料は、 当期において1年分通期で計上



- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っている今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 当社株式へ投資される際は、投資家ご自身の判断と責任で行われますようお願いいたします。

